

# 「調合システム」導入による パーソナル製品類 OEM の生産性向上



## 成果

## リードタイム27%短縮、コスト20%削減。 化粧品 OEM の品質基準に手応え

バルクの製品検査で高評価が得られ、その品質は標準品と差異がありませんでした。この結果を受け、化粧品 OEM 完全内製化に向けた品質基準に手ごたえを感じています。秤量から出荷までのリードタイムは8日間。バルクの移送が不要となったことで、従来の工程に対して27%（3日間）短縮が可能となりました。製造原価に関しては、1個あたり約20%の削減が実現しました。これはバルク移送料の削減ならびに、バルク製造の内製化による効果です。今後のビジョンは化学工業薬品類のバルク製造経験で得た調合ノウハウを、自社パーソナル製品事業に活かすこと。【原材料開発×処方開発×バルク製造】を融合した独自事業へも展開し、収益の拡大を図っていきます。

## 今後の展望 Future outlook

## 外部委託の厳しい条件をクリア。 クリーム・ジェル製造に真空乳化装置

安全性と信頼性に優れ、著しい成長を見せる自然派・オーガニック（ボタニカル）化粧品市場へ参入を果たします。バルク製造は企業ごとにノウハウが異なり、充填包装に比べて外部委託のハードルは厳しくなります。このため既存顧客へのアピールと並行し、潜在顧客にアプローチを重ねていきます。2年目からは製造案件を増やし、バルク稼働率を30%から70%に引き上げます。3年目には、ほぼフル稼働+日産製造数（バルク仕込み数）を増やすことで売上増を見込みます。4～5年目に導入するのはクリームやジェルなど、乳化製品の受託製造が可能な真空乳化装置。ほぼ全ての化粧品・医薬部外品を製造できるようになり、さらなる新規顧客・受託品目の拡大を図ります。



## Company introduction

## 株式会社 アステス

〒962-0041

福島県須賀川市横山町97

TEL 0248-72-5011 FAX 0248-72-2101

代表者 代表取締役 富田 等嗣 資本金 1,000万円

設立 1988年（昭和63年）2月1日 従業員 23名

U R L <http://www.e-astes.co.jp>

## 課題

## 植物系新素材の共同開発が切り口。 充填包装のキャパシティー増強も

自然派・オーガニック（ボタニカル化粧品）の開発製造によって新市場への参入を目指しました。顧客および潜在顧客である化粧品ブランドメーカーに対し、植物系新素材の共同開発を切り口に製品づくりを進めます。また、年間120万個という現在の生産能力に対し、現有顧客の生産希望は年間450万個。充填包装のキャパシティー増強に寄せる期待、要求は高まっていました。調合（バルク製造）業務開始による製造一貫体制の構築で、多くの商機が得られます。当社は化学工業薬品類でバルク製造を経験しており、そこで得られた調合ノウハウを化粧品などパーソナル製品に活かして OEM の完全な内製化を図ることとしました。

## 実施内容

## バルク製造→充填包装→出荷 という一貫した受託体制が整う

溶解槽、攪拌（かくはん）装置、チラー用蒸熱タンクなどを導入して化粧品類調合・原材料溶解システムを構築しました。バルクの加温・冷却、原料（成分）攪拌の均一化が可能となり、バルク製造→充填包装→出荷という一貫した受託体制が整っています。主要顧客が立ち合いの下、新たに据え付けた設備でバルク製造を行いました。オーラルウォッシュの原料を秤量（ひょうりょう）して出荷までのリードタイムを検証（バルク製造量100kg・原料数13・充填量300ml・個数300個）、異物やゴミが混じっていないことを目視で確認しました。香調・使用感は官能検査でチェック。微生物試験の結果は未検出でした。

## 主な事業内容

日進化成（株）グループの一員です。四半世紀を経て事業を刷新、そのコンセプトは一般化粧品市場への新規参入です。現在は化粧品・医薬部外品・トイレタリー製品などの企画・処方開発、充填包装および植物系新素材（原料）の開発を主要な事業としています。このようなパーソナル製品の OEM 事業とともに、化学工業薬品の OEM（調合）にも傾注。多くのメーカー様のパートナーとして安定した評価を得ています。